



Link-Uグループ株式会社

決算説明資料 FY2026 4Q

中期経営計画2030（FY2027-FY2030）

2026.9.14

Presentation Material

FY2026 4Q





目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み



目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み



COMIKEY

ブラジル国内での
売上前年比

270%

サブスクリプション
ユーザーの居住国数

200
以上の国と地域

143億PV超
Webtoon作品
『俺だけレベルアップな件』
国内流通独占



最も先進的プロジェクトにおける

AI生成コード比率

98%



提供マンガサービス

国内・海外あわせて

30以上

合計月間アクティブユーザー数(MAU)

2,000万人

合計月間閲覧数

500,000,000 件

世界最大規模のマンガ投稿サイト

投稿
作品数
累計

50,000 話以上



翻訳対応言語

5カ国語

月間翻訳ページ数

10,000
ページ

デジタルマーケティング

200以上の
国と地域で実施

※ISO 3166-1 alpha-2 (国・地域コード) に基づく区分



世界最大規模の
会員数を有する
アニメブランドと、
サブスクリプション
マンガサービスを運営



※調整後営業利益：営業利益から減損損失・その他の収益・その他の費用を調整して算出しています。

FY2026 実績

調整後営業利益や利益率は前期比で増加

- マンガサービスと制作(コンテンツ)の4Q売上は過去最高を更新
- マーケティングは「選択と集中」のために縮小傾向へ
 - 当4Qにおいて連結子会社Romanzに係るのれん745百万円を減損損失（その他の費用）に計上

FY2026 成長に向けた取り組み

① 海外サービス基盤の強化

- 2025.10 Cruncyrollとの業務提携及びCrunchyroll Mangaリリース
- 2026.2 経産省「グローバルサウス未来志向型共創等事業」に採択
- 2026.6 経産省「IP360」にMANGA Plus by SHUEISHAとManga UP! が採択

② データ基盤の構築

- 2026.6 データ活用によるIP展開支援事業「Mangaful Base」開始

③ グループ体制の最適化

- 2026.7 成長領域への選択と集中による組織再編
 - Brightechとバリューコンサルティングの売却
 - Link-U Marketing合併消滅（予定）



目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み

新エリア拡大加速

(IP展開エリア拡大)



新規事業創出

(IP領域拡大)



資本業務提携



資金使途

• 海外デジタルマンガ配信の拡大

「Crunchyroll Manga」を通じて
新たな地域市場へ展開するととも
に、ローカライズ体制を強化

• 事業支援体制の強化

開発、運営、コンプライアンス、
各市場の特性に応じたサービス展開

• 海外におけるIP関連コンテンツ・サービスの拡大

海外展開の可能性があるコンテンツを発掘し、
調達・制作・ローカライズ・配信を推進するととも
に、データを活用したサービスを展開

ラウル・プリニ氏（Crunchyroll / President）コメント

アニメとマンガは深く結びついており、これらのストーリーテリングを世界中のより多くのファンに届けることには、大きな可能性があると考えています。Link-Uは、マンガとテクノロジーに関する深い知見に加え、日本の出版業界における強固なネットワークを有しています。両社の強みを掛け合わせることで、優れた物語をより多くのファンに届け、彼らが愛する作品の世界とのつながりをさらに深める、新たな機会を創出できると考えています。

Link-U Technologiesが運営に携わる海外サービスが経済産業省「IP360補助金」に採択 → Crunchyroll Mangaに加え、複数の事業でさらなる成長加速が可能に



MANGA Plus by SHUEISHA

集英社のジャンプ作品を
9言語で配信する
マンガアプリ・Webサービス



Manga UP!

スクウェア・エニックスの
作品を200以上の国・地域に
配信するマンガアプリ

IP360補助金

「流通プラットフォーム拡大支援」区分

- | | |
|--------|---|
| 主な支援目的 | 海外向けコンテンツ供給の拡大・外国ユーザーの拡大・IPの360度展開による利益の最大化 |
| 補助内容 | 補助率=1/2、補助上限額=30億円 / 者、補助期間=～2年 |

集英社創業100周年記念の新グローバルマンガサービス「MANGA MILLION」の開発を担当

→ 100以上の言語でマンガを世界に届け、グローバルなファン層を拡大へ



©SHUEISHA Inc. ALL rights reserved.

サービス名

MANGA MILLION

マンガ ミリオン

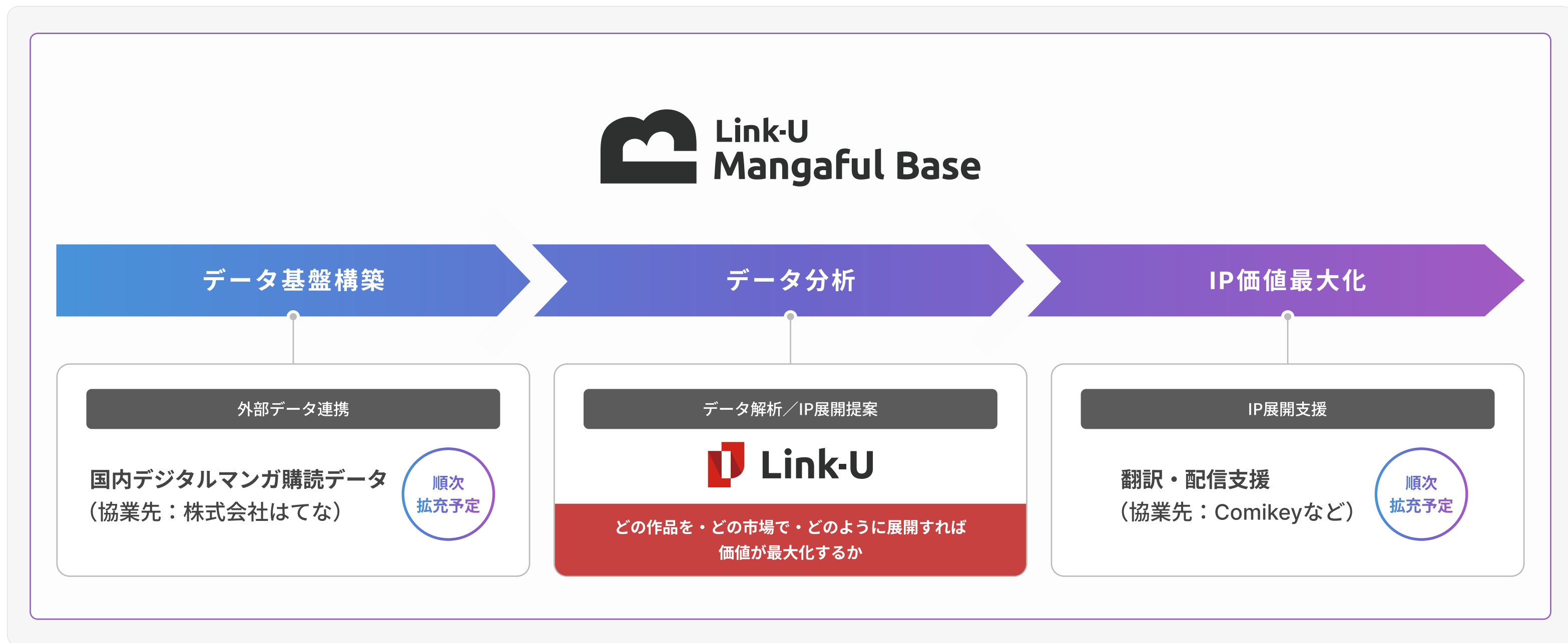
対象地域

全世界配信

配信作品

100以上の言語に翻訳された
合計100万ページに及ぶ
集英社のマンガ約400作品

多様なパートナーとの連携を拡大し、IP価値最大化に向けたデータ基盤・展開支援体制を構築中 → ぶんか社への翻訳・配信支援サービス提供を開始





目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み

マーケティング事業ののれん減損により、営業利益は一時的に赤字
一方、本来の収益力を示す調整後営業利益は好調

4Q単体

売上収益

1,252 百万円 YonY 108 %

営業利益

▲ 625 百万円 YonY - %

調整後営業利益※

161 百万円 YonY 408 %

4Q累計

売上収益

4,800 百万円 YonY 99 % 修正予算比※ 96 %

営業利益

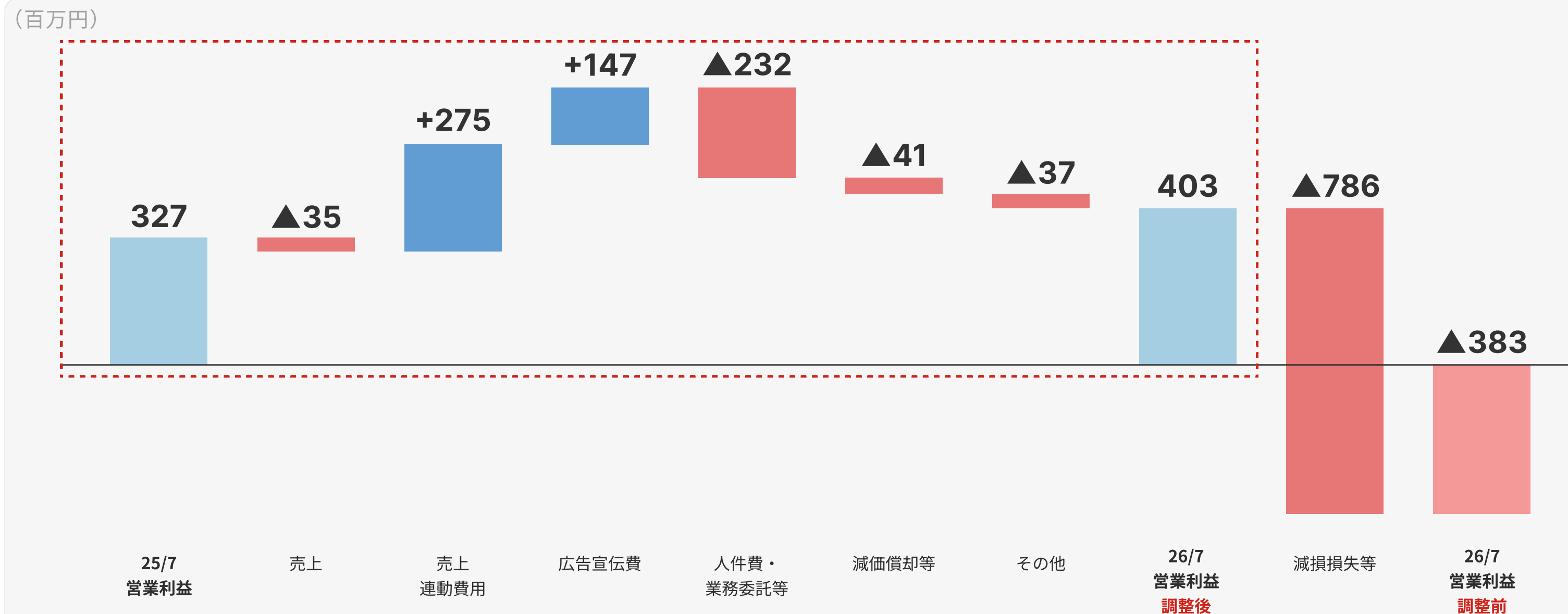
▲ 383 百万円 YonY - % 修正予算比※ - %

調整後営業利益※

403 百万円 YonY 143 %

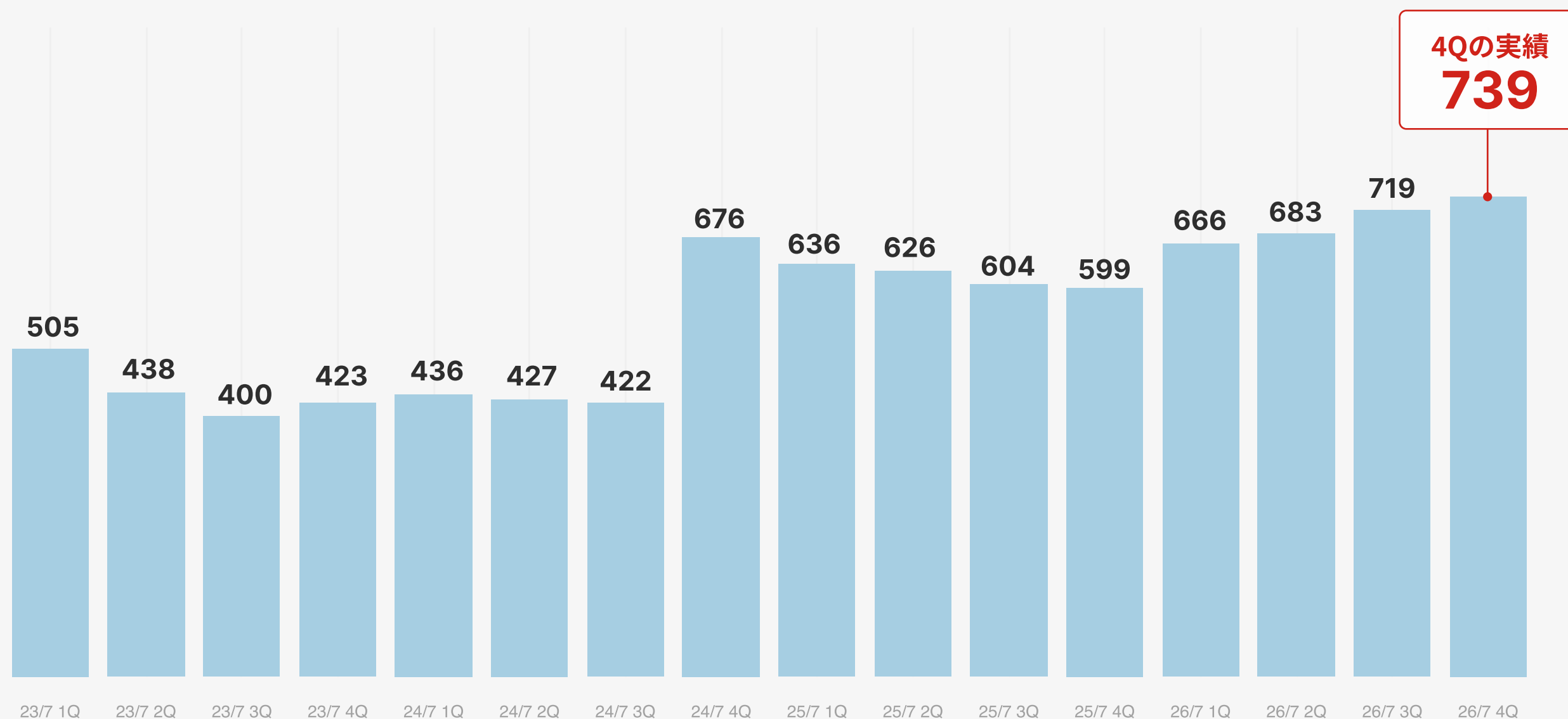
※4Q累計の修正予算比は予算レンジの中央値をもとに算出 ※調整後営業利益とは、営業利益から減損損失・その他の収益・その他の費用を調整して算出

主力事業の成長とコスト削減が寄与し、利益は増加



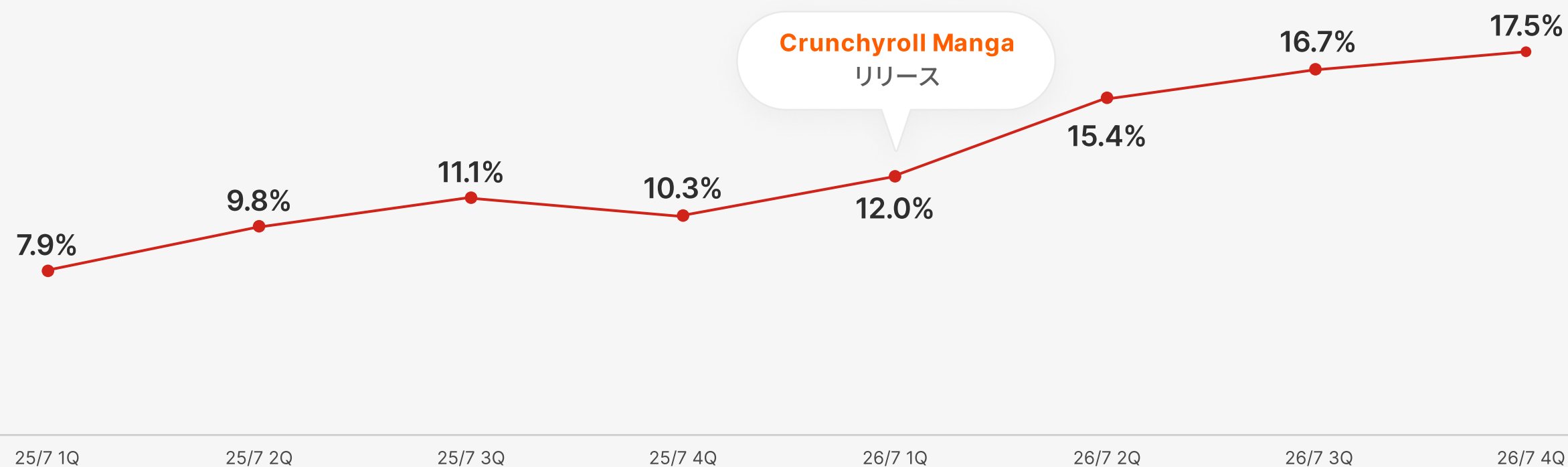
海外マンガサービスの成長に加え、広告含む各種施策効果による国内マンガサービスが好調 過去最高を更新中

(百万円)



海外売上は前年比182%に成長

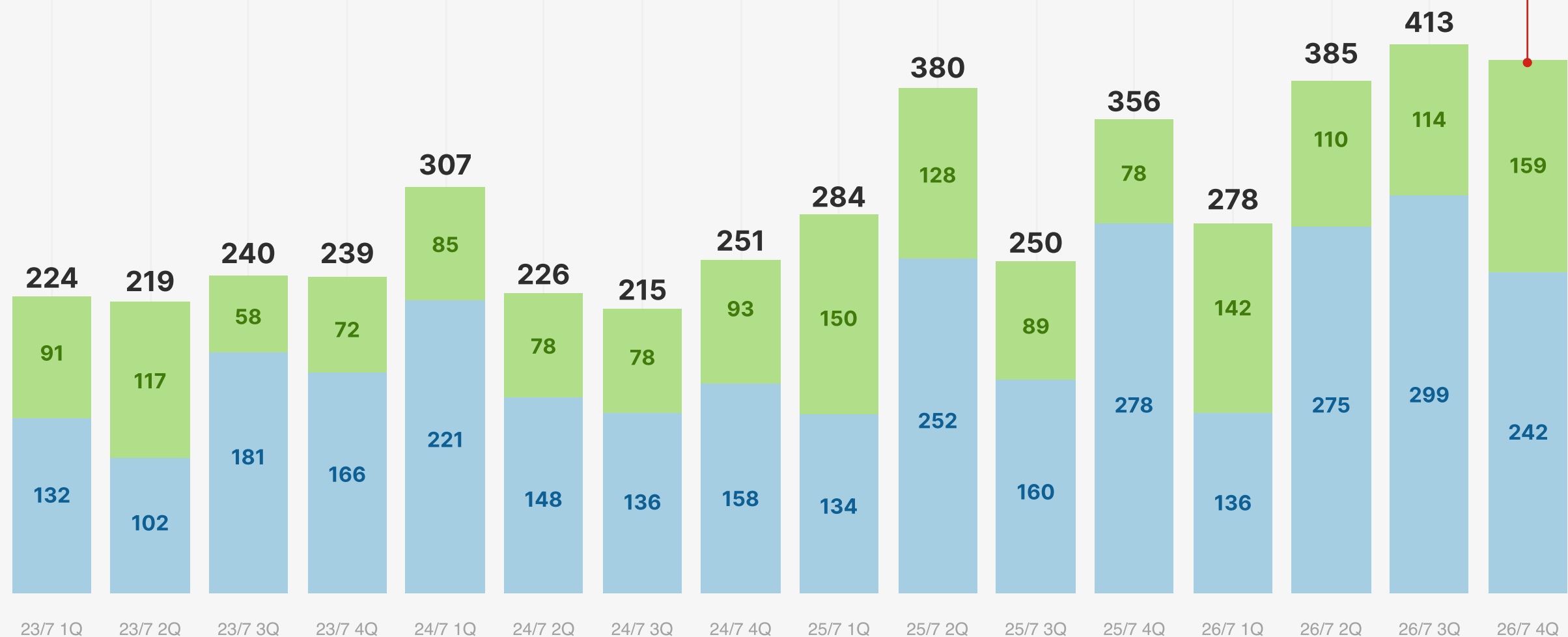
マンガサービス事業における海外サービス売上比率



特にコンテンツは、主力タイトルに加え、新作タイトルも好調で過去最高収益を計上

(百万円)

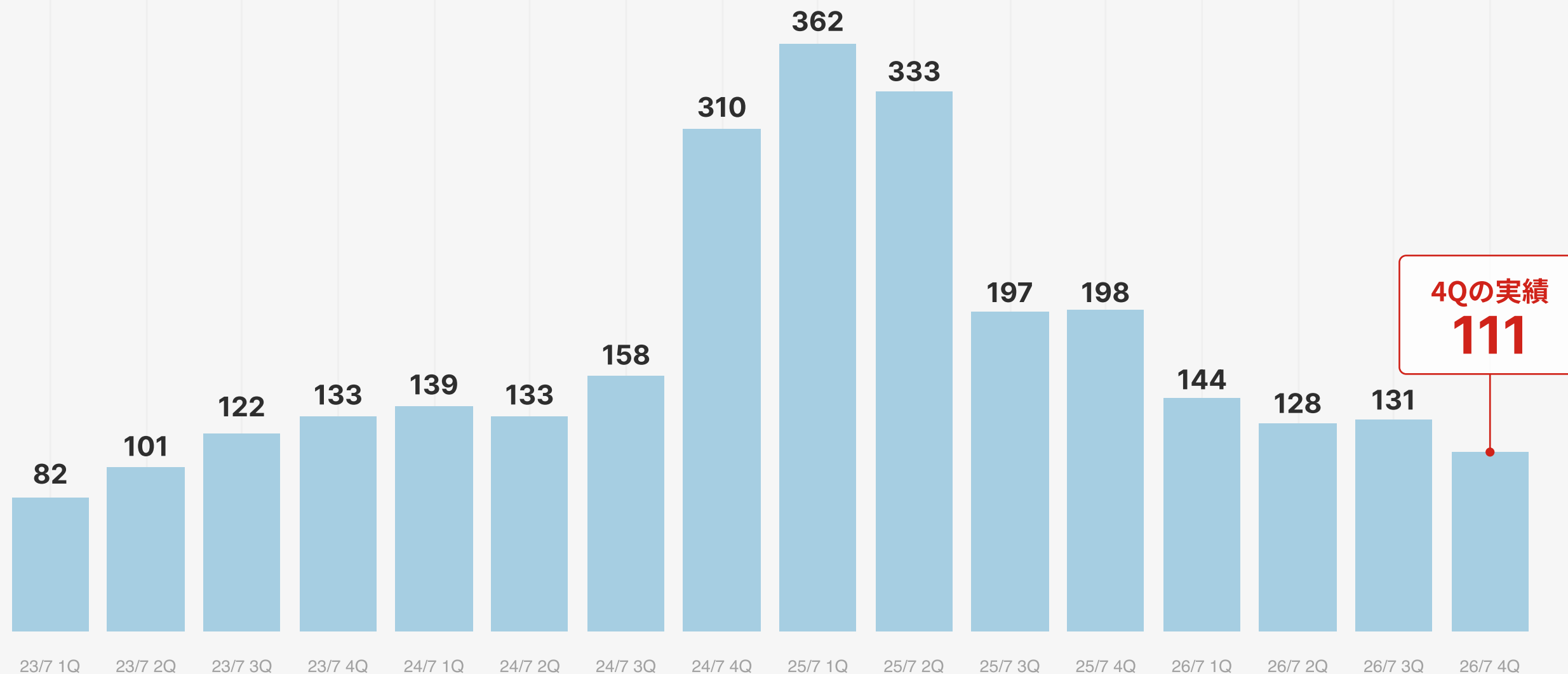
■ 技術開発 ■ コンテンツ



4Qの実績
401

成長戦略の実行のため、マーケティング事業は縮小

(百万円)





目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み



中期経営計画2030

FY2027-FY2030

あらゆる価値を解放し、
ココロ震える体験を世界に。



※FY2026の営業利益・営業利益率は、調整後営業利益をもとに算出しています。

当社を取り巻く環境はここ数年で大きく変化 マンガ市場において、成熟期を迎える国内と成長期を迎える海外、いずれもIP価値最大化が重要

国内市場

成熟・競争激化

- 市場規模は伸びているものの、需要が一服し、**成長スピードは鈍化**
- 「マンガを当たり前に電子で読むこと」が定着し、**新規参入プレイヤーが増加**
- ユーザー獲得競争が激化し、**単純な売上の追及から収益性重視への転換**とマンガだけではない**IPの領域拡大**が求められる

✓ 収益性の改善 + IP領域(幅)拡大

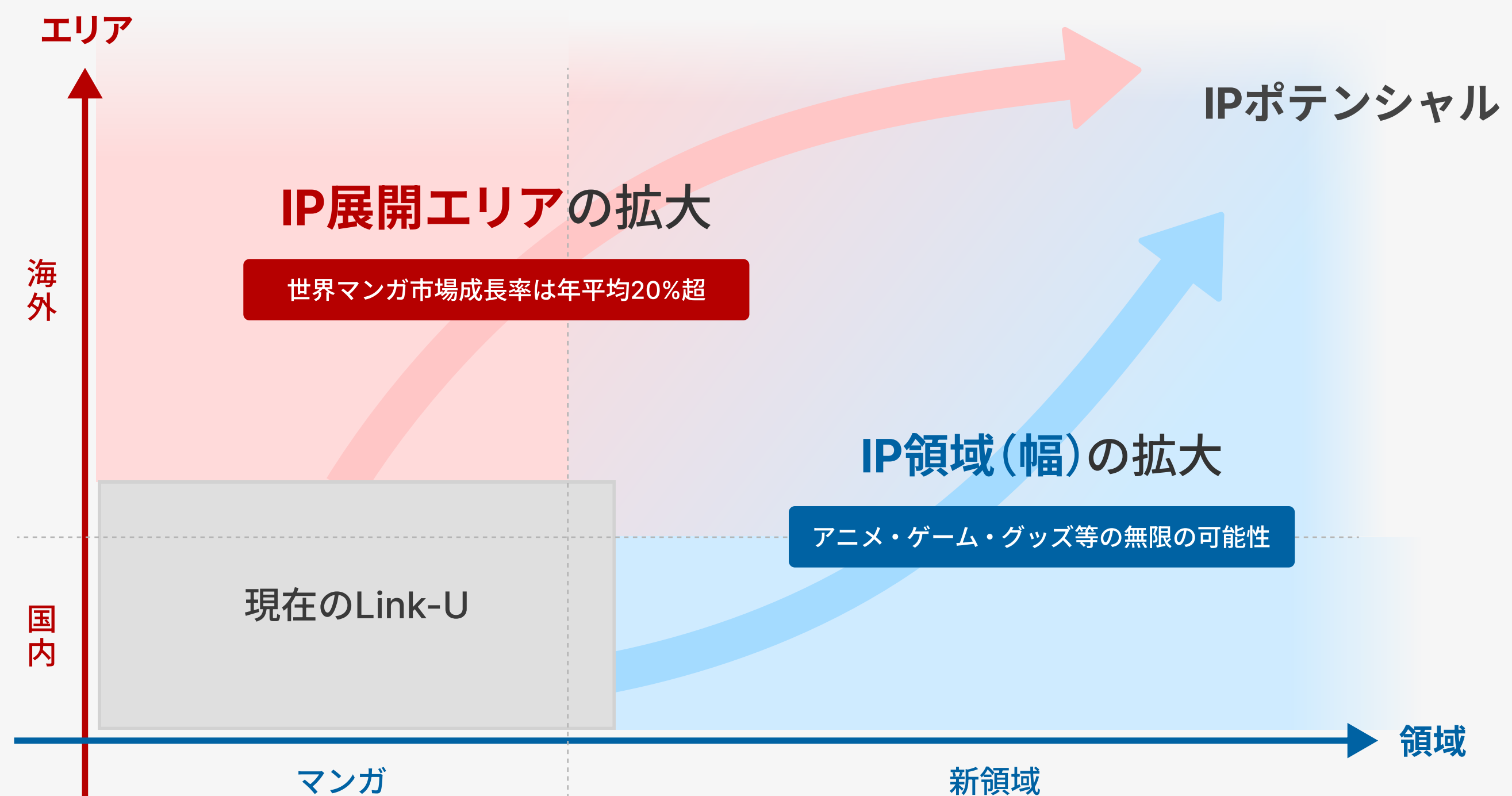
海外市場

需要増加・成長期

- 動画配信ブームを契機に、世界中の若年層視聴者が大量の**日本アニメへ容易にアクセス可能に**
- 一部で人気だった**日本発IPコンテンツ**が、世界的に**熱狂的な支持を集めるコンテンツに進化**
- アニメ人気を起点とし、**原作マンガや関連IPへの需要が世界的に急増**しており、圧倒的な成長ポテンシャルを秘めている

✓ エリア拡大によるIP価値最大化







目次

01

はじめに

02

最新
トピックス

03

4Qおよび
今年度の
連結業績

04

中期経営計画
2030
(FY2027-FY2030)

05

2027年度の
取り組み

IP価値最大化の実現に向け、事業の「選択と集中」を推進

→ グループ組織体制を最適化

連結子会社

持分法適用会社

FY2026

 **Link-U**
Technologies

 **Link-U**
Marketing

ROMANZ

 **ビュー**

 **Link-U**
Products

Brightech

VALUE CONSULTING
ONESTOP KEYBUSINESS SOLUTION

 **COMPASS**

 **STUDIO**
MOONSIX

COMIKEY

FY2027

 **Link-U**
Technologies

 **Link-U**
Products

ROMANZ

 **ビュー**

 **STUDIO**
MOONSIX

COMIKEY

 **COMPASS**

- ✓ 2026年7月31日付で、株式会社Brightechおよびバリューコンサルティング株式会社はグループ会社から除外
- ✓ 2026年7月31日付で、株式会社コンパスは連結子会社から持分法適用関連会社へ異動
- ✓ 2026年11月1日付で、連結子会社の株式会社Link-U Marketingは合併消滅予定

以下の分類で事業を推進

MANGA PLATFORM

国内・海外
マンガサービス

CONTENT SOLUTION

IP新領域
システム開発

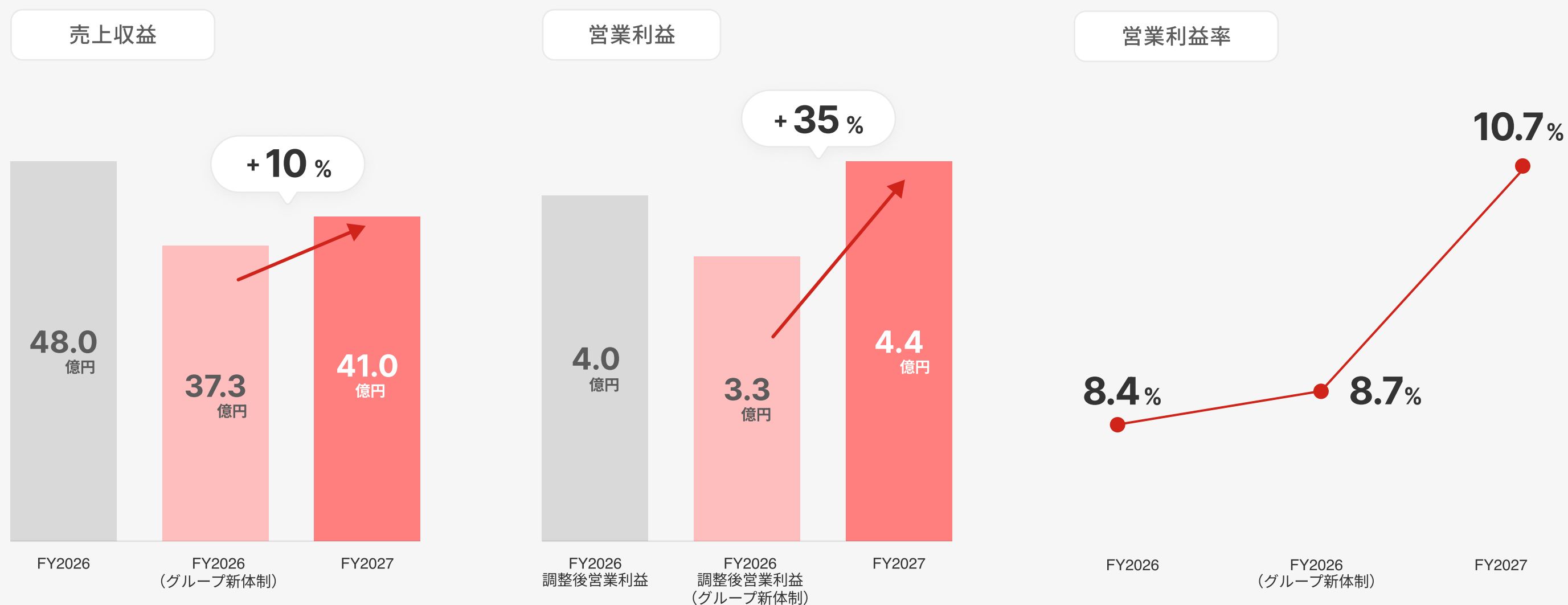
LIFE STYLE

自社プロダクト
読み放題サービス

IP展開エリアとIP領域(幅)の
拡大に向けた中核事業

成長を支える
安定的な収益基盤

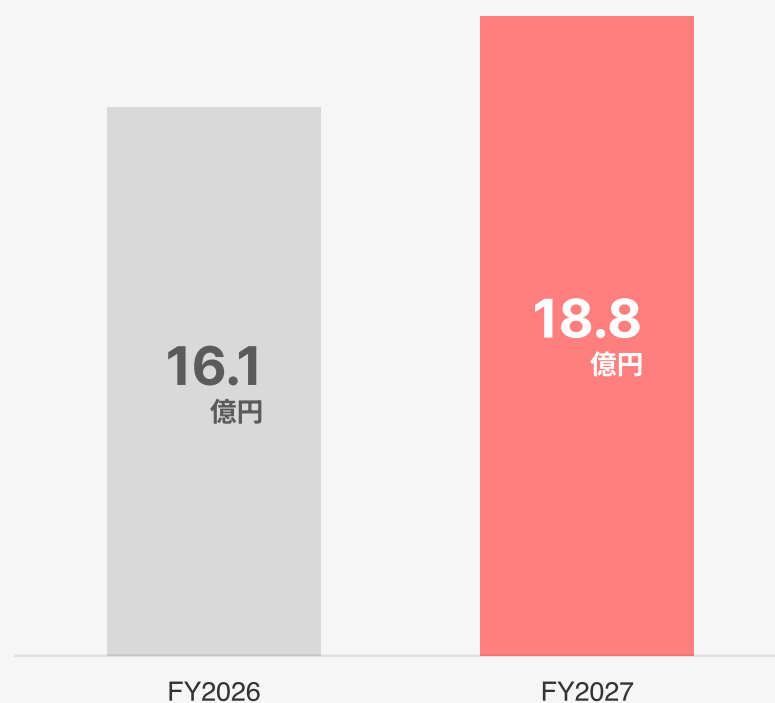
2027年度は特に「IP展開エリアの拡大」に注力 収益性の高い海外マンガサービスを伸ばし、営業利益率のさらなる向上を目指す



※FY2027予算はレンジの中央値を使用しています。 ※調整後営業利益とは、営業利益から減損損失・その他の収益・その他の費用を調整して算出しています。

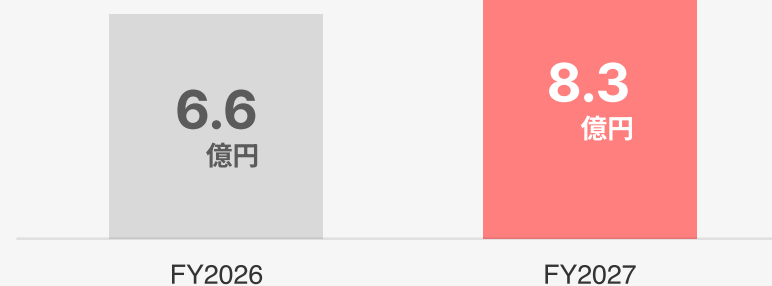
MANGA PLATFORM

- 国内は運用効率化によるコスト効率化で利益率を向上
- 海外はCrunchyrollとの協業や補助金活用よりマンガIP展開エリアを拡大



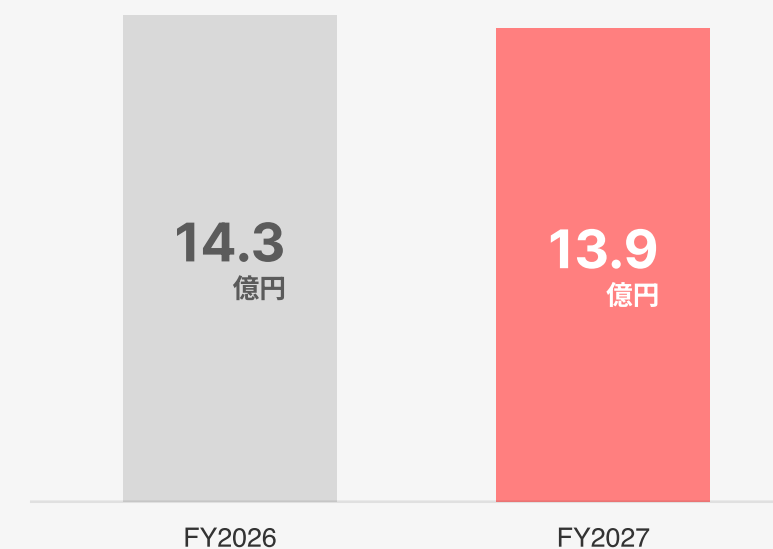
CONTENT SOLUTION

- 開発技術の横展開と営業強化により、新たな収益源を構築



LIFE STYLE

- Link-U Productsとビューンの連携強化により、案件・顧客基盤を拡大
※マーケティング事業整理により微減





新たな中期経営計画が始まります。

変化の激しい時代だからこそ、
IPの可能性を信じ、
その価値を世界へ広げることで、
新たな成長を実現してまいります。





Link-Uグループ株式会社
決算説明資料 FY2026 4Q
中期経営計画2030（FY2027-FY2030）

2026.9.14

Appendix





Link-Uグループ株式会社

代表取締役 グループCEO	松原 裕樹
住所	東京都千代田区外神田2丁目2番3号
設立年月日	2013.8.20
資本金	477百万円 ※2026年7月末時点
従業員数	単体 22名 連結 193名 ※2026年7月末時点
業務内容	グループ会社の経営管理等



株式会社Link-U Technologies

国内マンガサービス・システム開発事業
持株割合：100.0%



株式会社ビューン

マンガ・雑誌読み放題サービス事業
持株割合：100.0%



株式会社Link-U Products

地震防災アプリ「ゆれしる」など、
社会課題や暮らしのニーズに応えるサービスの企画・運営
持株割合：100.0%



株式会社Romanz

Vtuber・ストリーマーを活用したマーケティング事業
持株割合：100.0%



株式会社コンパス

マンガのプロデュース・エージェント・海外配信
持株割合：48.1%



Comikey Media Inc.

海外プラットフォームの構築・ローカライズ
オフィス：アメリカ、ブラジル、インド
持株割合：50.0%



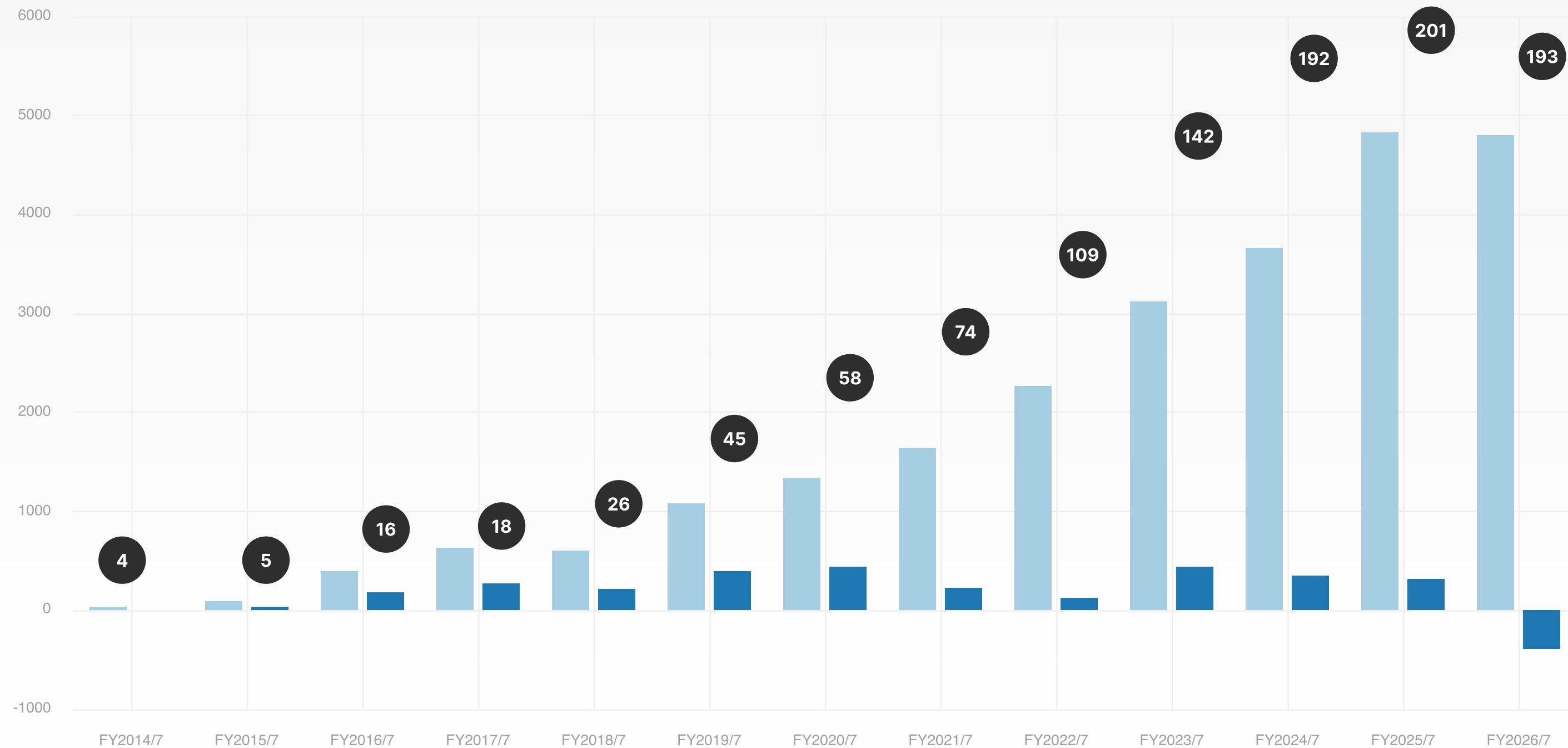
株式会社Studio Moon6

Webtoonのプロデュース・グローバル流通
持株割合：50.0%



(百万円) ※21/7より連結数値 ※25/7よりIFRS任意適用

売上高 営業利益 従業員数





本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料のいかなる情報も、当社の株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている当社グループの業績見通し、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した、将来の業績に係る見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。